

川甚跡地の活用に関する説明会 質疑応答

1 開催日

令和4年11月11日（金）

【第一部】午後5時00分～ 【第二部】午後7時00分～

2 ご質問と回答

	ご意見・ご質問（要約）	回答（要約）
1	工事は区内事業者に依頼するのか。また、概算費用はどの程度か。	来年度、設計業務を行うため、詳細はこれからとなります。区の契約手続きに沿って、公平な契約を進めてまいります。
2	カナマチびらっとなどの別施設との差別化はどのように考えているか。	川甚跡地の活用におきましては、葛飾柴又の文化的景観の価値を踏まえ、様々なイベントを実施していくことを想定しています。資料に記載のイベントはあくまで例示であり、決定したものではありません。柴又の魅力を発信し、柴又に行きたいと思う動機づけとなるイベントを開催していきたいと思っております。
3	帝釈天の木彫りの奥行や素晴らしさを発信する場として、2階スペースを活用してほしい。	葛飾柴又の文化的景観や川甚の歴史などについて紹介できる空間を検討していきます。
4	帝釈天に「宝物館（資料館）」のようなものがあたら良いと思う。お客様が帝釈天に来た際、彫刻に関する説明がないため、彫刻の良さが伝わらない。	帝釈天や区教育委員会担当部署と協議してまいります。
5	川甚跡地に公園を作るということですが、子供が多く来るはず。だが、川甚跡地に面している道路は交通量が多い。安全対策はどう考えているのか。	川甚跡地活用の現状イメージでは、広場を設けることとしております。担当部署と協議の上、お子様からご高齢の方、また観光客も含めて安全に利用できる空間を目指して検討を進めてまいります。

6	<p>大型バスで観光客を集客しなければいけないのか。川甚跡地に面している道路がかなり狭いため、危険を伴うと思うが、どう考えているのか。</p>	<p>大型バスについては検討会の中でも様々な議論がありました。川甚の敷地の半分が駐車場だった経緯もあり、観光施設として駐車場が重要であるという意見もありましたが、土手からの眺望も文化的景観の中で重要視されていることから、敷地内には駐車場を設けず、既存の河川敷駐車場を利用していただく考えとなりました。しかし、全国から多くのお客様がお越しになる中でバスのお客様もいらっしゃるため、せめて乗降スペースを設けるべきという考えに至りました。安全対策につきましては検討を進めてまいりますので、観光振興・観光誘客による地域活性化に繋がるものとして、ご理解をお願いいたします。</p>
7	<p>最終報告P22（文化的景観・葛飾柴又の歴史と文化に関する展示方針）、一番下の欄の「寅さん記念館、山田洋次ミュージアム、山本亭との連携」について、もう少し具体的な内容を聞かせてほしい。</p>	<p>展示空間につきましては、文化的景観、川甚の歴史、周辺の観光資源などとの連携を含めて、今後、詳細を検討してまいります。</p>
8	<p>このプロジェクトは生涯学習課が担当していると拝見したが、観光課または広報課もタイアップし、オール葛飾として全国にPRしていくものだと思うが、いかがか。</p>	<p>川甚跡地活用につきましては産業観光部が担当となりますが、公園や展示部分など他部署と協働・連携して取り組んでまいります。</p>
9	<p>これから検討を進めていく上で、若い方の力、タイアップする企業のアイデアによって、柴又の魅力がより発信できると思う。</p>	<p>若い方々や民間企業の知恵は、本当に必要なことだと思っています。今後、管理運営の内容について検討を進めていく際には、民間企業のアイデアも取り入れていきたいと考えています。この地域がさらに魅力的なものとなり、観光の活性化、さらに柴又が発展することに繋がるよう努力してまいります。</p>

10	川甚跡地活用も大事だが、柴又街道の銀杏も枯れてしまっているものもあるなど、柴又周辺の自然が心配。	柴又は江戸川との繋がりを含めて、自然に恵まれた美しい景観が残る地域だと思っています。川甚跡地の活用についても、季節が感じられて景観に調和する、そんな空間にしていけたらと考えております。
11	「柴又音頭」という古くからの盆踊りの曲があるが、レコードのテープが伸びてしまい、音源をCD等で保存できていない。その音源を回復させ、柴又音頭という、盆踊りの曲、踊りが廃れないようにしてほしい。本当にいい踊りだと思っている。生涯学習課もいるため、そういった部分ではぜひお願いしたい。	有形・無形に関わらず、地域に根付く文化を残していくということは非常に大切だと思います。区として何ができるのか、どのような形で対応できるのかを検討してまいります。
12	川甚の跡地活用を考えた時、川や河川敷に住む生物の生態系を展示するなど、江戸川に親しみを持ってもらえるテーマパークのような施設が良いと思う。柴又から、江戸川の生態系や環境を世界に発信していける施設にしてほしい。	江戸川の魅力を感じていただけるような展示を含めて、内容を検討してまいります。
13	観光客の方が道に迷うことも多く、よく行き先を案内する。アプローチの仕方や観光案内板の整備について検討してほしい。	本施設整備にあたり、施設への誘導を含めた案内機能の充実について検討してまいります。
14	観光客の災害時の避難場所や帰宅困難者の避難場所になると良いと思う。	防災機能につきましては、地域の皆様に活用していただける機能が付加できるかどうかを検討してまいります。
15	地域の回遊性について、具体的にどういう風に、どの順番で回すのかなど、もっと深掘りして考えたほうが良いと思う。	本施設を拠点として、他の観光資源を回遊していただけるよう具体的な方策を検討してまいります。

16	整備にあたり、「葛飾柴又」の地域の強みを深掘りし、前面に打ち出したほうが良いと思う。	「葛飾柴又の強み」につきましては、「重要文化的景観」に選定された地域であることから、景観との調和に重きを置くものと考えています。今後、あらゆる場面を通じて、文化的景観の価値や柴又の観光地としての魅力を発信し続けてまいります。
17	地域住民に対する環境・防犯・治安といった部分について、この報告書に付け加えてもらいたい。	観光まちづくりの目指す姿は「住んでよし、訪れてよし」と言われています。観光によってまちが良くなっていく、住んでいる皆様もまちに誇りを持っていただき、愛着を深めていただく、そういったことが観光まちづくりだと認識しています。報告書の記載に付け加えることはできませんが、防犯などの部分については今後、検討を進めてまいります。
18	回遊性の話になるが、川甚跡地から江戸川へという導線だけでなく、江戸川から川甚跡地に足を運んでいただけるような、具体的な流れを今後検討してほしい。	サイクルポートの整備などを報告書に記載していますが、江戸川河川敷でサイクリングやランニングをしている方々にも、足を運んでいただけるよう考えてまいります。
19	川甚には素晴らしい庭園があり、樹齢何百年のシンボルツリーがあったが、惜しまれつつ切られてしまったと聞いている。川甚跡地の広場に植えられるのは桜でよいと思うが、百年、二百年先に柴又のシンボルツリーとなるような樹木を植えることも検討してほしい。	シンボルツリーにつきましては、担当部署を含めて検討してまいります。
20	世界中から色々な方が、川甚跡地の素晴らしい環境にお越しいただけるよう、葛飾柴又の魅力を発信してほしい。	柴又は人情もあって、おもてなしというところも大変素晴らしいと思っています。世界に誇れる観光地だと考えておりますので、情報発信に力を入れ、国内外のお客様にお越しいただけるようにしてまいります。

3 ご意見のみ

1	川甚の件は大変気になっていた。川甚が閉店し、大変寂しいことだという意見があった。それを新たな形で、この地域を発展させていこうという様々な方のご努力が、この最終報告に凝縮していると感じた。よく読ませていただき、具体的な形で建設的な意見を申し上げたい。観光課長をはじめ、皆様には大変感謝申し上げます。
2	昔から柴又は、江戸川土手の桜並木が有名だったが、今は柴又公園の木しか残っていない。川甚跡地イメージには桜の木が植えられているが、こういったものをぜひ植え育て、本数を多くしてほしいと思う。
3	江東区や江戸川区が行っているような水上交通をこの柴又公園の江戸川防災船着場でやるのもよい。防災の時だけでなく、常時観光船、クルーズ船が停泊できるようにし、墨田川、荒川などと繋がることで、水上交通で柴又まで行けるようにすると良いと思う。